

- あなたのご支援が子どもたちの命をまもります -

# ガザ人道危機 緊急募金 ウクライナ緊急募金 に、ご協力ください



中東・パレスチナのガザ地区、武力紛争が激化した東欧のウクライナでは、今も多くの子どもたちが人道支援を必要としており、危機的な状況にさらされています。そのような状況から子どもたちを守るためユニセフの「ガザ人道危機 緊急募金」と「ウクライナ緊急募金」に取り組みます。**※お預かりした募金は、折半し、各々に振り分け送金(2025年4月送金予定)します。**

紛争から1年が経過、  
中東・パレスチナのガザ地区は、いま！

2023年10月、中東・パレスチナのガザ地区で激化した紛争により、甚大な被害が子どもたちに広がっています。国境の壁に閉ざされたガザ地区では、連日続いた砲撃により190万人の住民が避難生活を強いられ、生きるために不可欠な社会インフラも破壊されてきました。約3万9,000人の尊い命が奪われ、その6割を女性と子どもたちが占めており、かろうじて生き延びている子どもたちの多くも、一生消えることのない心や身体の傷に苦しめられています。

ユニセフのスタッフはガザの南部地域にとどまり、支援を続けています。ガザへの検問所が断続的に開かれ、人道物資が搬送されていますが、急増するニーズには足りていません。



(C)UNICEF.UNI571263.El Baba

## ユニセフ(国連児童基金)とは

ユニセフは、世界の子どもたちの命と権利を守る主要な機関として、約190の国と地域で活動を行っています。今回お預かりする募金は「ガザ人道危機 緊急募金」と「ウクライナ緊急募金」としてユニセフに送金します。

## 募金方法 ※募集期間 12/2(月)~12/27(金)

【3~6桁番号】注文欄 ※eフレンズでも注文できます。

注文番号	注文数
375161	1

注文番号 **375161**

注文数「1」を記入した場合  円の募金に！

※お預かりした募金は、寄付金控除の対象にはなりません。

※募集期間後も3月4回まで、「ガザ人道危機」、「ウクライナ緊急募金」として取り扱います。2025年4月には募金総額を折半して各々へ送金します。

[※裏面に具体的な支援活動を紹介しています。](#)



お問い合わせ先 とやま生協 コールセンター  
0120-555-192 月~金8:30~19:30

戦闘激化から2年のウクライナ、  
続く戦争下で成長する子ども、  
奪われ続ける日々...



(C)UNICEF.UN0623871.Modola

2022年2月24日に武力紛争が激化した東欧のウクライナ。その後わずか数カ月間で国土は急激に荒廃し、子どもの3人に2人が避難を強いられる、世界でも最大規模の避難民危機となりました。ユニセフは危機の発生以来、スタッフを増員し、ウクライナ国内と避難先の周辺国で子どもの保護に奔走しています。

ウクライナの子どもたちは今もなお暴力、トラウマ、喪失感、破壊、避難の苦しみに耐えています。子どもたちはこの2年以上、遊びや学校での思い出、友人や家族との時間を奪われたのです。子どもを守るべき病院や学校は破壊され、医師や看護師、教員なども死傷したり避難民となるなど深刻な被害を受けており、ウクライナの子どもたちは今この瞬間も人道支援を必要としています。

## 地域 ユニセフの支援状況 ※日本ユニセフ協会HPより抜粋 2024.11/5 時点

### ガザ地区

ユニセフはこれまでにガザにおいて、子どもとその家族に以下の支援を届けることができています。

- 子ども80万人以上を含む約200万人に安全な水をお届けしました。
- ガザ地区全域で10歳未満の子ども約56万人にポリオ(小児麻痺)ワクチンの接種を実施しました。
- 25万人以上に医薬品をお届けしました。
- 仮設学習スペースを39か所設置し、子どもたちに教育の機会と心のケアを提供しました。
- 8万人以上の子どもに個別学習教材を配布しました。
- 必要な生活物資を手に入れられるよう、人口の3分の1を超える86万人以上に現金給付支援を提供しました。
- 1万人以上の5歳未満の子どもたちに高カロリービスケットや栄養補助食品を提供しました。

#### ★命のインフラを止めない活動

壊滅的な被害を受けたガザ地区の給水施設のうち、かろうじて機能している施設を止めないように、さまざまな物資や技術を提供し、約82万人の子どもを含む160万人以上に安全な水を届けています。



ガザ地区でユニセフが支援する給水車から水を入れ、家族のもとに水を運ぶ女の子。(ガザ、2024年7月9日撮影)

### ウクライナ

ユニセフは2023年中にウクライナ国内及び難民受け入れ国において数百万人の子どもとその家族に支援を届けました。

#### ★安全な水、保健・医療物資の提供

医療施設等で約500万人にプライマリ・ヘルスケアのサービスを提供し、水道などが損傷・破壊されている地域の540万人以上に対して安全な水を利用できるようにしてきました。

#### ★教育、心理社会的支援の提供

132万人以上の子どもたちに正規・非正規の教育へのアクセスを提供しました。そしてユニセフのパートナー団体とともに、256万人以上の子どもたちと保護者にメンタルヘルスと心理社会的支援を提供しました。

#### ★難民受け入れ国での支援も

125万人以上の子どもたちが、正規または非正規の教育へのアクセスができるよう支援しました。また、約27万人の女性と子どもが、予防接種サービスを含む一次医療を受けることができるようになっています。さらに、131万人以上の子どもたちや保護者が、メンタルヘルスや心理社会的支援を受けることができました。

ユニセフは、子どもたちの命が守られ、学ぶ権利や遊ぶ権利が奪われないよう、そして尊厳のある生活が過ごせるよう、活動を展開しています。こうしたユニセフの活動の中で、皆さまから寄せられる募金は、たとえば、次のようなものにも使われています。

10,000円が集まると、赤ちゃんや子どもたちを寒さから守る、大きめの毛布14枚に変わります。

30,000円が集まると、避難生活に欠かせない衛生用品のセット4世帯(1か月)分に変わります。



### 【2023年度に、とやま生協で集まったユニセフ緊急募金額送金額】

★ガザ人道危機 緊急募金:3,300,000円を送金(2022年6月)しました！

★ウクライナ緊急募金:4,920,000円を送金(2024年3月)しました！